

# とちぎ市議会だより

## 第5号

2011.5.20

発行／栃木市議会 編集／議会広報紙発行特別委員会 TEL.0282-21-2253



東北地方太平洋沖地震による液状化の被害に耐え、満開となった藤岡渡良瀬運動公園の桜

平成23年3月定例会が、2月25日から3月24日までの28日間の会期で開催されました。

今回の定例会で提案された議案のうち、平成23年度の各会計予算については、予算審査特別委員会に、条例制定等については、各常任委員会に付託のうえ慎重に審査を行い、全議案とも可決いたしました。

請願・陳情については、12月定例会からの継続審査案件2件、新規の陳情2件の審査を行い、TPP関連など2件が採択となり、2件については、再度継続審査を行うことになりました。

一般質問は、3月1日から4日の4日間に20人の議員が登壇し、市政全般にわたる質問が行われました。

また、追加議案として現施設管理部長の山本元久氏を副市長として選任する議案が最終日に提出され、同意をいたしました。

## 目次

3月定例会の 主な議案	2～3
一般質問	4～9
常任委員会審査結果	10～11
討論	12
議案等審議結果	13～14
議会基本条例を制定	15
議会のうごき	16

# 3月定例会の主な議案

3月定例会では、平成23年度各種会計予算12件、平成22年度各種会計補正予算15件、条例の制定7件、条例の一部改正9件、その他の案件9件、陳情2件及び継続審査となっていた請願1件、陳情1件の審議が行われました。

主な議案等については、以下のとおりです。

## 環境基本条例の制定

新生栃木市の良好な環境の保全及び創造について、基本理念を定め、市、市民、事業者の責務を明らかにするとともに、環境の保全及び創造に関する施策の基本となる事項を定めることにより、これらの施策を総合的かつ計画的に進めるための指針として定めるものです。

## 男女共同参画推進条例の制定

男女共同参画社会基本法の理念に基づき、市や市民の事業者が一体となって男女共同参画の推進に取り組み法的基盤の整備を図るため定めるものです。

## 赤ちゃん誕生祝金条例の制定

旧1市3町の赤ちゃん誕生祝金等の支給内容等を統一するため、条例を定めるもので、祝金の額等は次のとおりです。

- 第2子 1万円
- 第3子 2万円

※大平町赤ちゃん誕生祝金条例及び藤岡町赤ちゃん誕生祝金支給規則の対象者は経過措置に該当する場合があります。

## 地域医療対策基金条例の制定

地域医療の充実及び強化を図る事業の財源に充てるための基金を設置するため、条例を定めるものです。

## 星野遺跡憩の森条例の制定

栃木市星野町にある星野遺跡憩の森の管理等について必要な事項を定めるため制定するものです。



星野遺跡憩の森

## 部設置条例の一部改正

平成23年4月1日からの組織機構の改編に伴い栃木市部設置条例等の一部を改正するというものです。

改正内容は、部の名称の変更や所管事項の変更などとなっています。

## 国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令一部改正に伴い、国民健康保険条例の一部を改正する必要があることから改正するものです。

改正内容については、出産育児一時金を35万円から39万円に引き上げるといったものです。

## 歴史民俗資料館条例の一部改正

栃木市郷土参考館の管理等について必要な事項を定めるため、歴史民俗資料館条例に郷土参考館を加えるというものです。

## 人事案件

### 副市長

前副市長の手塚和男氏が2月21日をもって退任されたことから、平成23年4月1日から施設管理部長の山本元久氏を副市長として選任することについて同意をしたものです。

### 教育委員会委員

委員の若林由美子氏が平成23年5月18日をもって任期満了となることから、引き続き任命することについて同意したものです。

### 人権擁護委員

人権擁護委員23名のうち、柿上法雄氏及び山本郁子氏の2名が平成23年6月30日をもって任期満了となることから引き続き推薦することに同意したものです。

## 平成23年度予算の概要

### 一般会計予算 522億5,000万円

新規事業や主な事業

- コミュニティバス運行事業費 5,322万7千円
- デマンドタクシー運行事業費 7,910万3千円
- 住宅用太陽光発電システム設置費補助事業費 1,800万円
- 地域医療対策基金積立金 5億円
- 予防接種事業費 3億3,802万8千円
- 学童保育施設整備事業（設計2か所、工事1か所） 1億2,630万8千円
- 耐震補強・改築事業（保育園、小学校校舎、小中学校体育館） 7億9,547万8千円
- 中小企業向け資金融資事業 19億8,006万6千円
- 千塚町上川原地区開発事業費 7,850万5千円
- 栃木中央小学校整備事業費 17億318万9千円 ……
- 総合体育館耐震補強事業費 1億9,120万円



工事中の中央小学校

### 特別会計等の主なもの（抜粋）

- 国民健康保険特別会計予算 153億4,900万円
- 後期高齢者医療特別会計予算 11億9,950万円
- 介護保険特別会計（保険事業勘定） 94億8,500万円
- 下水道特別会計予算 39億4,500万円
- 農業集落排水特別会計予算 2億5,580万円
- JR大平下駅前土地地区画整理特別会計予算 1億4,010万円
- 中根企業用地特別会計予算 2億7,070万円 ……
- 水道事業会計（収益的支出） 20億1,924万8千円
- （資本的支出） 12億7,145万3千円



中根企業用地(旧藤岡高校)

#### 継続審査中の請願・陳情

##### 藤岡町下宮地区の埼玉県加須市への編入を求める請願

この請願は平成22年10月に藤岡地域下宮地区の住民の代表者他26名の方々から提出があり、12月定例会の審査で継続審査となっておりました。

その後、加須市への編入に反対されている方の意見を伺ったりしながら、再度総務常任委員会で審査を実施しました。

委員会では、「反対されている方の問題を具体的に克服することも大切である。」「両方の意見をきちんと把握して対応を考えなくてはいけない。」など多くの意見が出され、全会一致で、継続して調査すべきとのことから、再度、継続審査をすることとなりました。

##### 渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録に関する陳情

この陳情は、平成22年11月藤岡町自然を守る会より提出され、継続審査となっておりました。

その後、藤岡地域協議会委員との意見交換を行い、再度、民生常任委員会で審査を実施しました。

委員会では、「環境省の意見を聞かないと結論は出せない。」「治水を推進する方と登録を推進する方のお互いが納得するような方向とすべきなので継続すべき。」「治水の問題を解決しないとその先には進めない。」「河川法で担保でき、これからの事業がこれまでと変わらないのであれば採択してもよい。」などの意見がありました。継続すべきが多数であり、再度継続審査をすることとなりました。

#### 採択した意見書

- ・ 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)参加断固阻止に関する意見書
- ・ 保育制度改革に関する意見書

# 市政に対する一般質問

**福田 裕司 議員**  
栃木創志会

○栃木市地域公共交通総合連携計画について  
○旧町営住宅廃止に伴う進捗状況について

## 新公共交通の試行運転の実施方法は

本年10月から実施しようとしている新公共交通システムの試行運転について、具体的な実施方法について伺う。

**答弁** 富田市民生活部長  
事業評価や改善のため市が自ら管理運営を行う

デマンドタクシーについては、試行運転期間は市が管理運営を自ら行い、事業評価や見直し改善等を実施し、要望や苦情に対して迅速かつ適切に対応していきたいと考えている。  
運転業務は、市内のタクシー事業者にて委託を予定しており、ワンボックスタイ

プを12台、内2台を車椅子対応とし、運行日は平日の8時から17時まで、料金は300円、障がい者や子供、老人福祉センター利用者は150円と考えている。

○コミュニティバスについては、中心市街地を循環する2路線と各地域から中心市街地を結ぶ7路線とし、7時から19時までの毎日運行を予定しており、バス停は、医療・商業施設等の需要の多い施設利用に配慮した場所に設置したいと考えている。運賃は初乗り100円で地区ごとに100円を加算し最大300円としたい。

**氏家 晃 議員**  
新生クラブ

○平成23年度の市政運営における重点施策について  
○県道栃木栗野線の拡幅及び歩道整備について  
○岩舟町との合併問題について

## 平成23年度の予算案に反映できた重点施策は

22年度予算は、旧市町での積み上げの予算であったが、23年度予算は鈴木市長が手掛けることができた最初の予算である。そこで予算案に反映できた重点施策について伺う。

**答弁** 鈴木市長  
旧1市3町の見えない垣根を解消したい

平成23年度予算は、見えない垣根の解消と新生栃木市発展の方向性を示したいという思いを込め予算編成を行った。

代表する事業としては、コミュニティバスとデマンドタクシーであり、これまでバス路線は、自治体の範囲を越える路線の設定がなかったが、10月から栃木駅と大平地域を經由し藤岡部屋地区を結ぶコミュニティバス路線の運行事業費を計上したほか、デマンドタクシーも市内全域を対象として計上した。

この事業には、交通弱者の移動手段の確保等の直接的な成果と、旧1市3町の見えない垣根を解消し、新市の一体感が醸成されればという思いが表れている。

また、藤岡高校跡地を中根企業用地に造成する事業には、雇用創出や地域経済の活性化のほか、合併を未来に飛躍するチャンスと捉え新生栃木市を力強く魅力ある「活動都市」へ生まれ変わらせるといふ思いを込めている。

**長 芳孝 議員**  
黎明

○地域協議会と区長の役割  
○農業振興施策について  
○中学生派遣事業について  
○つがの里聖地公園整備  
○名誉市民の推挙顕彰について

## 区長の役割と成果は

県内合併市町で初めて地域自治区制度を導入し、区長も選任されて半年が経過したが、役割と成果、今後の見通しについて伺う。

**答弁** 鈴木市長  
役割を十分果たせるような仕組みを構築する

これまでの会議での議論や研修等を通して、各地域協議会では、栃木市全体を見渡した上で、それぞれの地域のまちづくりを考え、地域の意見を市に提案するという気運が醸成されつつあるので、意見提案に関する手続き等のルール化を検討しているところである。

一方、地域協議会への諮問については、適時適切に意見聴取ができるよう内部の事務手続きを整理したいと考えている。

また、区長については、主に地域協議会やまちづくりに関する事務を統括しているため、庁議等で地域の重要案件などの審議がされる場合は、区長に出席していただき意見をいただいている。

今後とも地域協議会と区長が役割を十分に果たせるよう、より良い仕組みを構築していきたい。

大阿久岩人議員  
新生クラブ

- 福田屋百貨店閉店に伴う栃木市の対応について
- 歌麿を活用したまちづくりについて
- 主要地方道栃木佐野線・藤川の整備について

福田屋百貨店の閉店後の施設利用は

福田屋百貨店栃木店が2月末で閉店したが、中心市街地の活力を持続するためには、撤退後の施設利用について適切な対策が必要であると考える。そこで、これまでの経過と取り組みについて伺う。

答弁 鈴木市長

事例を参考にしながら検討していきたい

市民生活の安定とまちづくりへの影響を最小限とする必要があるため、昨年10月25日に大規模小売店舗閉店対策本部を設置した。

具体的な対策は、市に生活就労等の相談窓口を設置したほか、県への支援や、

職業安定所及び商工会議所に相談窓口等の設置などを要請した。

また、福田屋からは店舗を市で活用願いたいとの要望があったことから、議会と検討の場を設け、一丸となって対応していきたいと考えている。

現在、福田屋からの要望内容の疑問点について確認をしているところであり、百貨店を市役所として利用している事例もあることから、今後これらを踏まえて検討していきたい。

岡 賢治 議員  
新緑

- 美術品を活かした魅力あるまちづくりについて
- 市有財産を活用した収益の確保について
- 市有未利用地等の有効活用について

市有施設の自動販売機は入札すべきでは

足利市が市有施設への自動販売機設置について、一般競争入札を行い、大きな

成果があったようだが、本市においても検討すべきではないのか。



入札で設置された自動販売機(本庁舎)

答弁 山本施設管理部長

本庁各庁舎から試行的に実施する

足利市や佐野市などほすでに自動販売機の設置に競争入札を導入しており、財源確保の成果を上げていることは認識している。

本市でも、一般競争入札の導入に向けて、検討を行っており、「自動販売機設置事業者の選定に関する基本的な考え方」として、導入方針をまとめ、本年4月より試行的に本庁の自動販売機から実施していきたい。

海老原 恵子 議員  
新緑

- 23年度予算について
- 子ども手当について
- 地域医療対策について
- 下野国庁跡の整備は
- 発掘調査への取り組みを
- いにしえネットワークは

下野国庁跡に対する取り組みは

栃木市田村町の下野国庁跡は、奈良時代から平安時代前半にかけての役所の跡であるが、国庁跡資料館は、訪れる人も少なく地元でさえ知らない人もいます。

3月には、国庁まつりも開催されるが、多くの人に訪れていただけるような取り組みができないか伺う。

答弁 成瀬教育次長

専門職員による資料の調査研究を行う

今後においては、本庁各庁舎の試行結果を検証し、総合支所や市有施設の自動販売機に順次拡大し、競争入札における設置を実施していきたいと考えている。

下野国庁跡は、発掘調査、国の文化財指定、指定地の公有化、史跡整備、資料館開館を経て現在に至っており、「下野国庁まつり」を毎年開催するなど、貴重な文化財の活用周知を図ってきたが、文化財としての認知度は、まだ不十分であるため、今後は専門職員による地域資料の調査研究と企画展の開催などにより認知度をさらに高めていきたいと考えている。

また、地元実行委員会により開催されている「下野国庁まつり」についても、広報紙やホームページ等を活用するなどの支援をしていきたいと考えている。



下野国庁跡資料館

**広瀬 義明 議員**  
平正会

○青少年の育成と支援について

**新規施策の予定は**

市長のマニフェストにある青少年に関するものについては、(仮称)わいわい工房や(仮称)自由広場などがあるが、計画内容と進捗状況について伺う。

**答弁** 富田市民生活部長  
**若者が集まる施設を整備したい**

(仮称)わいわい工房については、若者が気楽に集まることができる場所を栃木駅前創設するというもので、集まった青少年が自ら事業を企画・運営することで、自立心や社会規範を身につけたり、栃木市のまちづくりに対する提案や参画の拠点としての検討も必要かと考えている。

なお、この事業は、栃木駅周辺整備事業と関連しているため、関係機関と協議しながら進めていきたい。

また、(仮称)自遊広場については、若者が自由におしゃべりや遊べる場所をまちなかに創るというもので、中心市街地の栃木大通りなどを想定しており、ライブハウス等の若者が活躍できるイベントが開催したいと考えている。

このような施設に若者が集うことよって中心市街地の活性化につなげていくものと考えている。

**大出 三夫 議員**  
平正会

○農業後継者(担い手)育成支援事業について  
○新生栃木市のフードバレー推進について  
○下都賀総合病院の再生計画について

**新生栃木市の農業後継者への支援は**

栃木市農業振興の中心的役割を担っていく農業後継者の人材育成は非常に大切であるが、どのように育成支援していくのか伺う。

**答弁** 小栗産業振興部長  
**関係機関と連携し育成支援に努める**

栃木市における農業は、重要な基幹産業であるため、担い手の育成支援を積極的に行う必要があると考えている。

平成22年4月に農業経営基盤強化促進法に基づく基本構想を策定し、意欲のある担い手を認定農業者として支援するため、認定農業者協議会や担い手総合支援協議会への運営補助金の交付、及び認定農業者等が農業施設の整備等に利用する農業近代化資金への利子補給を行っている。

今後も担い手による農地の利用集積と集落営農の組織化を推進すると共に、戸別所得補償制度の積極的活用などによる農業所得の向上や、担い手及び新規就農者への農業施設等の整備の補助事業の導入など、関係機関と連携して担い手の育成支援をしていきたい。

**中島 克訓 議員**  
新生クラブ

○小中学校における平和教育の推進について  
○中学校修学旅行の広島への延長について

**学校での平和教育はどのように行うのか**

戦後66年が経過し、若い世代を中心として平和意識の低下や希薄化も懸念されるが、戦争体験者の高齢化により家庭や地域での平和教育が難しくなってきたため、学校での教育が必要ではないか。

**答弁** 赤堀教育長  
**指導の仕方を研究していききたい**

学校での平和教育は、平和で民主的な国家及び社会の形成という理念の理解だけでなく、思いやりの心や生命尊重の精神の涵養が大切であると考えている。

小学校の社会科では、資料を通して第2次世界大戦の学習をするほか、戦争を体験された方などから話を

伺ったりしている。

また、中学校では、歴史的分野と公民的分野について、ビデオ等の視聴覚教材を通して学習している。

今後も、生命や平和の大切さを実感させられるような指導の工夫を研究し、平和に貢献する資質や態度を育成する教育を推進するよう学校に対して指導助言をしていきたい。

**千葉 正弘 議員**  
栃木創志会

○介護関係施設数と待機者数ほどのような状況か  
○医療福祉モールの福祉施設はどのような施設か  
○小中学生の理科離れは  
○農業の活性化について

**介護関係施設の待機者の状況は**

栃木市内に大勢の介護関係施設の入所待機者がいるようだが、今後の施設数と待機者の推移はどのようにになると予測しているのか。

**答弁** 飯塚保健福祉部長  
**施設の整備により対応する**

老人福祉施設は、介護保険計画に基づき、栃木地域に50人定員の特別養護老人ホームが4月に開所となり、市全体では、特別養護老人ホームが9施設、定員は514人となる。

ほかに、特別養護老人ホームは、大平地域で29人定員の施設が建設中で、栃木地域でも29人定員の施設整備を予定している。

また、認知症高齢者に対応するグループホームも大平地域、都賀地域に建設中であり、栃木地域にも整備予定である。

これらの施設の整備に併せて、待機者も徐々に減ると考えている。

**萩原 繁 議員**  
新生クラブ

- 災害時の緊急避難場所としてゴルフ場との締結を
- 災害協力井戸の家登録を
- 高齢者見守り支援で電力新聞事業所と協力締結を
- 鳥インフルエンザ対策は

**高齢者の見守り支援 ネットの締結は**

日常業務の中で、高齢者と接する機会が多い水道検針や新聞などの事業所と、高齢者見守り支援ネットの一環として、非常時に通報して頂くなどの協力体制の締結ができないか伺う。

**答弁** 飯塚保健福祉部長

**高齢者見守り対策の中で今後検討する**

本市では、民生委員等が地域の70歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯を定期的に訪問する「ふれあい相談員」、弁当を手渡しして様子を伺う「配食サービス」や緊急通報装置を自宅に無償で取り付け24時間での対応を行っているほか、地域包括支援センターが毎日、訪問相談を実施するなどして、高齢者の見守りを行っている。

提案のあった事業所との協力締結については、高齢者見守り対策の中で、今後検討していきたいと考えている。

**大島 光男 議員**  
栃木創志会

- 藤岡警察署廃止後の窃盗事件等の増加について
- 運転免許証更新の手續きを藤岡交番にて実施は
- 旧藤岡高校校舎解体と造成工事(中根企業用地)

**藤岡警察署廃止による地域の安心安全は**

藤岡警察署が廃止され間もなく一年が経過するが、最近自動車盗を含む窃盗事件が多発している。現藤岡交番を含む三駐在所体制で地域の安心・安全を守れるのか伺う。

**答弁** 富田市民生活部長

**引き続き警察との連携を強化する**

栃木県警本部によると、藤岡警察署廃止後の体制については、藤岡交番と三か所の駐在所との連携によりパトロールの強化を図っているほか、藤岡警察署が栃木警察署と一体化したことにより、藤岡地域での初動体制、機動力、夜間体制が

これまで以上に強化されると共に、県南機動センターの機動捜査隊や交通機動隊との連携が図られ、迅速に対応できているとのことであった。

これらのことから、藤岡地域では、昨年と比較し、刑法犯の犯罪発生件数はマイナス9%、身近な犯罪もマイナス20.3%と大幅に減少しているが、市として引き続き栃木警察署と連携を強化して、藤岡地域の犯罪防止と住民の不安解消に努めていきたい。

**天谷 浩明 議員**  
栃木創志会

- 中心市街地のまちづくりについて

**栃木大通りのまちづくりは**

栃木駅北口から続く大通りの街並みは、電線の地中化などが行われているが、シャッターの閉まった店も多い。そこで行政がリーダーシップをとって整備を進めるべきではないか。

**答弁** 鈴木市長

**伝統的建造物保存地区の選定を受けたい**

歴史的町並みが魅力ある姿となるよう伝統的建造物保存地区の選定を受けるよう取り組んでおり、選定を受けると、国からの交付金等の支援により、修理や修景を行えるため、観光資源の増加などにより商店街の活性化につながると考えている。

なお、今後作成する総合計画等において、伝統的建造物群保存地区との整合を図り、市民の意見を反映させながら検討していきたいと考えている。



栃木大通りの町並み

白石幹男議員  
無会派

- 合併後のまちづくりについて
- 地域自治区について
- 地域経済の活性化について
- 保育行政について

### 福祉向上の原則に立ち返るべきではないか

合併協定項目の調整方針の基本原則としては、住民福祉向上の原則がうたわれていたが、実態は赤ちゃん誕生祝金などの減額が打ち出された。今後のまちづくりに影響するため基本原則に立ち返るべきだと考えるが見解を伺う。

答弁 鈴木市長

### 不公平感を解消する

合併協定項目の調整の基本原則には、住民福祉向上の原則があり、合併前の市町で行っている住民福祉サービス水準に差異のあるものは、水準を低下させることなく住民福祉の向上が図られることを原則に調整することとしている。

一方で市民間の公平化を図るための負担公平の原則や健全な財政運営の原則等もあり、市民の皆さんのご理解ご協力をいただかなくてはならないものもある。

赤ちゃん誕生祝金等は、地域ごとに差異があったものを統一し、全市域に拡大して実施するため、これまでなかったサービスが導入される地域もあれば、逆にこれまでの水準が維持できない地域もあるが、サービス基準の一元化を進めることが地域間の不公平感を解消し、一体感の醸成につながっていくと考えている。

福富善明議員  
新緑

- ごみの不法投棄について
- 栃木市における防災対策について

### 災害ボランティア登録制度の設置は

大規模な災害時には迅速な救援活動が求められるので、災害に強いまちづくりの一環として、災害ボラン

ティア登録制度を設置する考えはないか伺う。

答弁 尾上総務部長  
災害ボランティア養成研修から実施する

本市では、平成14年に台風6号の災害復旧のため、社会福祉協議会、青年会議所、ボランティア団体等を中心とした「栃木市災害ボランティアセンター」を開設し、8日間で延べ500人を超えるボランティアにごみの搬出等の支援活動を行っていた。

災害ボランティアについては、来年度、社会福祉協議会により、災害に関する知識の習得などを目的として「災害ボランティア養成研修」を実施し、この研修修了者に災害ボランティアとして登録をお願いするとともに、制度の周知など、制度化に向けて努力していきたいと考えている。

小堀良江議員  
新生クラブ

- 人口推計の実態について
- 人口増に向けての取り組みは
- 産業交流都市について
- 心の病の実態について
- 心の病の支援について

### 企業誘致の取り組みはどのように行うのか

千塚町上川原地区の産業団地整備に向けて予算計上されているが、企業誘致への取り組みは今後どのように行うのか伺う。

答弁 小栗産業振興部長

### 事業実施に必要な法的手続きに着手する

上川原地区開発事業について、平成23年度は、事業実施に必要な法手続き等の準備のため、環境影響評価の現況調査の実施や都市計画決定案の作成などの予算を計上している。

企業誘致については、本地区の具体的な計画が定まりしだい、早めにパンフレットやホームページ、ダイレクトメール等により情報を発信し誘致活動を進めるとともに、企業アンケー

ト等により情報の収集に努め、市長によるトップセールスを活用しながら早い時期に立地企業が確定できるように努力していきたい。

なお、立地企業に対する支援措置の拡充や事務手続きの支援も行うほか、栃木県と連携を図りながら、積極的な誘致活動を展開し、優良企業の早期立地を実現したいと考えている。

入野登志子議員  
公明党議員会

- 子育て支援について
- 福祉タクシー券について
- 「災害時要援護者名簿」作成の登録状況について
- 高齢者支援対策について
- 予防接種について

### 災害時要援護者名簿の作成状況は

旧栃木市では、災害時に支援を要する市民の避難等に利用するため要援護者名簿が作成されているが、旧町についてはどのような状況か伺う。



**答弁** 飯塚保健福祉部長  
 旧1市3町とも名簿は作成されている

「災害時要援護者名簿」は、要援護者情報の収集、共有等を円滑に進めるためのものであり、栃木地区については、平成21年7月にマニュアルを作成し、名簿への登録を始めており、旧町も、内容は異なるが、民生委員等の協力により要援護者名簿を作成してある。今後、現在策定中の栃木市地域防災計画との調整を図りながら、市全域において有効性が高い要援護者への対応方針を策定するとともに、より多くの要援護者の情報が登録できるように取り組んでいきたい。

**大武 真一 議員**  
 栃木創志会

- 住み良い栃木市の街づくりについて
- 市ゆかりの美術品の調査とその保管について
- 公共工事の入札の落札率の高止まりについて

**談合防止のため電子入札を導入しては**

郵便入札の実施により、入札参加者間の接触の機会を少なくしてきたが、更に進め、事務の合理化を兼ねて電子入札を採用してはどうか伺う。

**答弁** 鈴木市長

**費用対効果などを踏まえ検討する**

電子入札は、入札における業者間の接触の防止や迅速な開札などの観点から、競争性、透明性の向上及び入札業務の簡素化・効率化に有効なものと考える。

県内でも6市が実施しているが、本市では、導入に伴う初期費用や毎年の管理費用が高額なこと、事業者の設備負担や人的な環境整備が必要なことから、導入せず、制度の似ている郵便入札を導入していた。

近年では民間事業者に使用料を払ってシステムを利用できる低価格方式の導入や操作の簡素化など、利用者への対応も図られている

ため、費用対効果や事業者の対応状況を踏まえ導入に向けた取り組みを行っている。きたいと考えている。

**内海 成和 議員**  
 栃木創志会

- オリン晁電社跡地の課税について
- 栃木市運動公園西側県道バイパスについて
- 障がい者大規模就労施設計画について

**オリン晁電社跡地の固定資産税の課税は**

平成15年の税制改正で土地開発公社が本来の事業に供さない土地等は課税されることとなった。

今回栃木市土地開発公社が購入したオリン晁電社の跡地について、固定資産税が課税されていなかったようだがどうなっているか。

**答弁** 鈴木市長

**調査を実施し課税した**

年度当初においては、地方税法に基づく非課税物件に該当すると判断し、課税

していなかったが、指摘を受けたことや土地開発公社から同様の申出があったことから、直ちに地方税法の非課税物件について調査を実施した。

その結果、非課税要件である「土地開発公社が直接その本来の事業の用に供する固定資産」には該当しないと判断したことから、2月1日に納税通知書を発送し、2月23日に納税されたところである。

**梅澤 米満 議員**  
 黎明

- 道の駅について
- 藤岡インター周辺の開発について
- 佐野・古河線の緩和策として、広域農道延長の渡良瀬川に橋をかけては

**藤岡三鴨地区の開発は**

藤岡地域の三鴨地区は、インターチェンジにも近く道路も整備され、流通団地や工業団地として条件が整っているが、この地域の開発計画はないのか伺う。



道の駅「みかも」とインター方面

**答弁**

**川島藤岡総合支所次長**

新市まちづくり計画で、三鴨地区を新市を支える新たな産業集積や交流拠点としての整備を促進していきたいと考えている。

なお三鴨地区は、市街化調整区域に指定されるとともに、そのほとんどが農業振興地域となっており、その一部が農用地区域にも指定されているため、工業団地等の整備を進めるには、都市計画法や農地法などの法規制との調整が必要となることから、今後策定する総合計画の中で検討していきたいと考えている。

# 常任委員会審査結果

## 総務常任委員会

日付 3月7日(月)

場所 保健福祉センター

### ○付託議案

条例の制定(栃木市長、副市長及び教育長の給与に関する条例)、条例の一部改正(特別会計条例、外国の地方公共団体の機関等に派遣される栃木市職員の処遇等に関する条例、栃木市職員の給与に関する条例)、補正予算(一般会計のうち所管する事項)、請願1件

### ○審査結果

議案は、いずれも討論なく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。請願は、継続審査すべきものと決定した。

### ○質疑応答

外国の地方公共団体の機関等に派遣される栃木市職員の一部改正に関する条例の一

**質** 今後どのような派遣が想定されるのか。

**答** 災害援助や特別な技能

を持った職員を外国の求めに応じて派遣することが考えられる。

**質** 派遣命令はどのようなものか。

**答** 国や県などから要請があったときに市として判断することになる。

**質** 一般会計補正予算に対する質疑応答

**質** 広報とちぎの印刷製本費が大きく減った理由は。

**答** 入札した結果、差金が約1千万円生じたことなど。

**質** 地域活性化・きめ細かな交付金について中根企業用地に係る校舎解体工事を選定した理由は。

**答** 金額や交付要件、報告までの期間が短いことにより、計画のあった中根企業用地の予算に充当した。

**質** 財政調整基金と減債基金の残高は。

**答** 22年度末で財政調整基金は約37億4千万円、減債基金は約23億円と見込んでいる。

**質** 減債基金の目標額は。

**答** 合併推進債などの償還に備えて、できるだけ準備していきたい。

## 民生常任委員会

日付 3月8日(火)

場所 保健福祉センター

### ○付託議案

条例の制定(環境基本条例、男女共同参画推進条例、赤ちゃん誕生祝金条例、地域医療対策基金条例)、条例の一部改正(国民健康保険条例)、補正予算(一般会計のうち所管する事項、国民健康保険特別会計他4件)、陳情2件

### ○審査結果

議案は、後期高齢者医療特別会計補正予算は討論があり、起立採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、その他の議案は討論なく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。保育制度改革関係陳情は採択すべきもの、ラムサール関係陳情は継続審査すべきものと決定した。

○質疑応答

**質** 環境基本条例の制定についての質疑応答

**質** 条例に違反する事例に対する対応は。

**答** 旧市の条例でも罰則規定を入れていたので、今回も入れる方向である。

**質** 男女共同参画推進条例の制定についての質疑応答

**質** 条例策定の過程は。

**答** 条例検討委員会を設け、2回ほど委員会を開催し審議を行った。

**質** 国民健康保険条例の一部改正についての質疑応答

**質** 改正の内容は。

**答** 出産育児一時金を平成21年10月に35万円から39万円に暫定的に引き上げてあったものを、恒久的に引き上げるということである。

**質** 一般会計補正予算の質疑応答

**質** 福祉タクシー料金助成事業の補正減の理由は。

**答** タクシー券の利用回数を月4枚までと制限したためではないかと考えている。

**質** 住宅用太陽光発電システム設置費補助事業費の内容と実績は。

**答** 1kWあたり3万円で、4kW12万円を上限に補助し、実績は219件である。

**質** 国民健康保険特別会計補正予算の質疑応答

**質** 財政調整基金繰入金金の増額の理由は。

**答** 医療費が増額したため、基金繰入金を増額した。

**質** 介護保険特別会計補正予算(保険事業)の質疑応答

**質** 特定入所者介護サービス費の対象施設と利用者は。

**答** 特別養護老人ホームが9施設、介護老人保健施設が4施設で、利用者は10月現在で893人である。

**質** 「保育制度改革に関する意見書」の提出を求める陳情の意見

**意見** 子育て等の環境整備は国がしっかりやるべきであるので採択すべき。

**意見** 待機児童の解消など保育事業は国の制度として助成金を予算付けすべきであるので採択すべき。

産業教育常任委員会

日付 3月9日(水)

場所 保健福祉センター

○付託議案

条例の制定(星野遺跡憩の森条例)条例の一部改正(歴史民俗資料館条例)、補

正予算(一般会計のうち所管する事項)、渡良瀬川中

央地区水管理施設管理協議会の設置、邑楽東部第1排

水機場基幹水利施設管理事業の事務の委託、陳情1件

○審査結果

議案は、いずれも討論なく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。陳情は起立採決の結果、採択すべきものと決定した。

○質疑応答

星野遺跡憩の森条例の制定の質疑応答

質 施設の整備の時期は。

答 住居復元が昭和43年、休憩所が昭和45年で平成15年に復元住居の改修をしており一般開放は平成11年8月である。

歴史民俗資料館条例の一部改正の質疑応答

質 郷土参考館の年間の入場者数は。

答 1万5千人程である。

質 要望 条例で規定する他の資料館と開館時間を統一していただきたい。

答 渡良瀬川中央地区水管理施設管理協議会の設置の質疑応答

質 水管理施設の管理とはどのようなことか。

答 太田の方の施設に8か所の監視カメラがあり、常時監視をするものである。

質 邑楽東部排水機場基幹水利施設管理事業の事務の委託の質疑応答

質 栃木市の占める面積は。

答 流域5千118haのうち栃木市は309haである。

質 流域の場所とはどこか。

答 旧渡良瀬川沿いである。

質 一般会計補正予算の質疑応答

質 学校給食費調理業務の補正減が多い理由は。

答 第5小学校の給食調理業務を新たに導入したが、落札率が予定価格の56%であったためである。

環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)参加断固阻止に関する陳情の意見

意見 TPPを望んでいる団体もあり、不明な点もあることからもう少し精査してから判断すべきなので継続審査とすべきである。

意見 関税が撤廃されると日本の農業は壊滅的な打撃を受ける。農薬等の問題もあり食糧を外国に依存してよいのかということが基本にあり採択すべきである。

建設常任委員会

日付 3月11日(金)

場所 保健福祉センター

○付託議案

条例の一部改正(農業集落排水処理施設の設置等に関する条例)、市道路線の認定・廃止・変更、補正予算(一般会計補正予算のうち所管する事項、下水道特別会計、農業集落排水、地域改善対策住宅新築資金貸付、J-R大平下駅前土地区画整理、医療福祉モール、水道事業会計)

○審査結果

議案は、いずれも討論なく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

○質疑応答

質 農業集落排水処理施設の設置等に関する条例の一部改正の質疑応答

質 農業集落排水事業の今後の事業展開の考えは。

答 現在実施している事業までとし、新規の事業は費用対効果を十分考慮して判断したいが、基本的には合併浄化槽で整備したい。

質 市道路線の認定の質疑応答

質 大光寺橋の新しい橋はどこに建設するのか。

答 現在の橋の南側である。

質 事業予定はいつか。

答 県に確認したが、23年度から用地買収に入り、完了まで5年かかる予定であるとのことである。

質 市道路線の廃止の質疑応答

質 廃止により既存宅地で市道に接しなくなり、建築確認が出なくならないか。

答 建築基準法43条の但し書きにより許可が出る。

一般会計補正予算の質疑応答

質 市道242号線(和田橋)橋梁整備事業の完了はいつごろか。

答 現在、橋梁上部と取り付け道路を工事しており、5月開通を目指している。

質 下水道特別会計補正予算の質疑応答

質 下水道工事個所の舗装の復旧の方針は。

答 工事個所の掘削部分を仮舗装し、道路管理者と協議の上、本舗装を実施する。

質 農業集落排水特別会計補正予算の質疑応答

質 大平、藤岡について最終的に公共下水道に変更できる区域はあるか。

答 整備費の国との関係进行调查のうえ検討したい。

質 医療福祉モール特別会計補正予算の質疑応答

質 病院予定地は23年度中に売却するのか。

答 小児科医院は2月に開院し、現在は賃貸であるが、経営に余裕があれば購入も検討することである。

# 討論

最終日の採決時に、委員長の報告に対する賛成、反対の意見を述べ他の議員の賛同を求めました。

## 平成23年度一般会計予算

**反対** 白石 幹男 議員  
無会派

大震災からの復興には莫大な財政支出が必要であり、地方自治体への補助金カットも考えられる。国のひも付き事業や不要不急の事業については当面の間凍結し、国の動向を見極めながら慎重な対応をすることと求めている。市民の暮らしと福祉を守ること、地域経済の活性化をはかることの2点についてその問題点を指摘し反対する。

**賛成** 大出 三夫 議員  
平正会

合併後の持続可能な財政運営を見据え、新規予算化した事業や終了したもの、予算総額をほぼ同額としながら対象を拡大したことで、負担とサービスの不均衡が生じないように配慮した予算編成になっており、合併したことによって生じる「見えない垣根」の解消

も図られ、市民サービスの更なる向上が期待される予算と判断し賛成する。

## 平成23年度国民健康保険特別会計予算

**反対** 白石 幹男 議員  
無会派

財政の悪化、保険税の引き上げ、滞納の増大という悪循環から抜け出せなくなっており、国に対し負担割合を元に戻すよう強く働きかけ、同時に市も一般会計からの繰り入れを行うべきであり、反対する。

**賛成** 大出 三夫 議員  
平正会

医療費の増加は否めないが、各種の保健事業を積極的に、保険者として、市民が安心して医療を受けることができ、国保事業の効果的で安定的な運営が出来る予算編成をしているものと考え賛成する。

## 平成23年度後期高齢者医療特別会計予算

**反対** 白石 幹男 議員  
無会派

高齢者を年齢で区切り差別する医療制度であると多くの国民から反対の声があつた制度であり、この医療制度自体を廃止するため今回の予算に反対する。

**賛成** 大出 三夫 議員  
平正会

高齢者の適切な医療の確保、健康診査等の実施による、医療費の抑制を図るために、最大限配慮された予算であると判断できるため賛成する。

**反対** 白石 幹男 議員  
無会派

給付をしていた旧大平や藤岡では出生率が上昇傾向にあつたことから、効果は大きいものと思われる。むしろ、第3子以降の支給額は増額すべきであり、旧大平町より減額となる今回の条例制定には反対する。

**賛成** 平池 紘士 議員  
黎明

合併前に旧栃木市にしか

なかつた事業や各町単独で行っていた主な18事業については、調整を行い残しており、住民サービスが低くなつたとは端的に言えない。議会側の意見もしっかりと盛り込んだ条例、予算であると思うので賛成する。

## 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)参加断固阻止に関する陳情

**反対** 大武 真一 議員  
栃木創志会

食料の安全から言えば米の完全自由化には反対であるが、工業製品を輸出し外貨を稼いでおり、TPPへの参加、不参加は重要で難しい問題である。拙速な反対でなく中央で十分な論議を行うことを求めるため、継続審査とすべきである。

**賛成** 長 芳孝 議員  
黎明

自分の食料は自分の国で守るといふ食料の安全保障や、森林や田畑の持つ自然環境の保全など多面的機能を考えれば、これ以上農地を減らすことは日本の危機とも考えられる。また農業

経営が成り立つための支援策には莫大な予算が必要とされるため、採択すべき。

## 渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録に関する陳情

**継続審査とすることに反対**

白石 幹男 議員 無会派

この陳情の内容は、河川法を法的担保として湿地登録を求める陳情である。河川法による湿地登録であれば現在とまったく変わらず治水と湿地保全が両立できるものであり、地元住民の理解は得られるものと考えられるため、陳情を採択すべきである。

## 継続審査とすることに賛成

福富 善明 議員 新緑

治水事業に支障がないことを前提に環境省が説明会を行うことになっている。この説明により地域住民が望まれるものであるなら賛成するが、国土交通省と環境省の協議の成立、地域住民の十分な理解がなされるまでの間、継続審査とすることが望ましい。

審議を行いました議案等の審議結果は以下のとおりです。(次ページへ続く) ○…賛成 ●…反対

議案番号	1号	2号	3号	4号~12号	13号~15号・47号~49号	16号	17号~24号	25号・26号・28号・29号・46号	27号	
	平成23年度各会計予算				平成22年度各会計補正予算			条例の制定		
議員	一般会計	国民健康保険特別会計	後期高齢者医療特別会計	事業 中根企業用地・水道 下駅前土地区画整理 金等貸付：JR大平 改善策住宅新築資 農集落排水・地域 介護保険・下水道・	老人保健特別会計2号・3号	一般会計6号・7号・8号 国民健康保険特別会計	後期高齢者医療特別会計	水道事業 下駅前土地区画整理 金等貸付：JR大平 改善策住宅新築資 農集落排水・地域 介護保険・下水道・	栃木市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例	赤ちゃん誕生祝金 条例 ・環境基本条例 ・星野遺跡の森条例 ・地域医療対策基金 ・男女共同参画推進条例
	採決結果	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
白石 幹 男 (無会派)	●	●	●	○	○	●	○	○	○	●
渡 辺 照 明 (無会派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高 岩 義 祐 (平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
海老原 恵 子 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
松 本 喜 一 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
増 山 敬 之 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
須 田 安 柰 (新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
入 野 登志子 (公明党議員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福 富 善 明 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広 瀬 義 明 (平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
氏 家 晃 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福 田 裕 司 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阿久 岩 人 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大 川 秀 子 (無会派)	議長のため採決には加わらない。									
天 谷 浩 明 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
梅 澤 米 満 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大 島 光 男 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長 芳 孝 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大 武 真 一 (栃木創志会)	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○
中 島 克 訓 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
関 口 孫一郎 (無会派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平 池 紘 士 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
千 葉 正 弘 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大 出 三 夫 (平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
萩 原 繁 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
慶 野 昭 次 (新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内 海 成 和 (栃木創志会)	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○
小 堀 良 江 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大 出 孝 幸 (公明党議員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡 賢 治 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永 田 武 志 (平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対

議案番号	30号~37号		38号~40号	41号	42号	人事案件	部改正	議案基本条例の制定	議案基本条例の制定	議案基本条例の制定	議案基本条例の制定	議案基本条例の制定	議案基本条例の制定
	議案	条例の一部改正		市道路線の認定 市道路線の廃止 市道路線の変更	渡良瀬川中央地区水管 理施設管理協議会の設 置	邑楽東部第1排水機場 基幹水利施設管理事業 の事務の委託	教育委員会委員 人権擁護委員 副市長	栃木市議会委員会条例の一 部改正	議案基本条例の制定	議案基本条例の制定	議案基本条例の制定	議案基本条例の制定	議案基本条例の制定
議員	歴中民俗資料館条例 農業集落排水処理施設の 設置等に関する条例		特別会計条例 部設置条例等 外国の地方公共団体の機 関等に派遣される職員の 処遇等に関する条例 職員の給与に関する条例 国民健康保険条例 水道事業の設置等に関 する条例										
採決結果	可決		可決	可決	可決	同意	可決	可決	採択	採択	継続※	継続※	
白石 幹 男 (無党派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
渡辺 照 明 (無党派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高岩 義 祐 (平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
海老原 恵 子 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
松本 喜 一 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
増山 敬 之 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
須田 安 柰 (新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
入野 登志子 (公明党議員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
福富 善 明 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
広瀬 義 明 (平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
氏家 晃 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
福田 裕 司 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
大阿久 岩 人 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大川 秀 子 (無党派)	議長のため採決には加わらない。												
天谷 浩 明 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
梅澤 米 満 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大島 光 男 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
長 芳 孝 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大武 真 一 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
中島 克 訓 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
関口 孫一郎 (無党派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平池 紘 士 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
千葉 正 弘 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大出 三 夫 (平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
萩原 繁 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
慶野 昭 次 (新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
内海 成 和 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
小堀 良 江 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大出 孝 幸 (公明党議員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
岡 賢 治 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
永田 武 志 (平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※藤岡町下宮地区の加須市への編入の請願及び渡良瀬遊水地のラムサール登録の陳情については、継続審査とすることについての賛否になります。

# 栃木市議会基本条例を制定

3月定例会最終日の3月24日、議会基本条例を提案し全会一致で可決、平成23年4月1日施行されました。

議会基本条例は、地方分権が進み、地方自治体の権限が大きくなってきたことなどにより、これまで以上に監視、調査、政策立案等の機能を強化することが議会に求められていることから、議会の果たすべき役割などを明らかにするために制定したものです。

栃木市議会では、議会基本条例検討委員会が中心となり素案を作成し、市民説明会などを経て今回の条例の制定に至りました。

その理念となる前文と条例の主な内容について、ご紹介いたします。

(条例全文は、議会ホームページで公表しているほか、議会事務局でも配布をしています。)

## 議会基本条例前文

「地方分権が進展し、地方自治体の自己決定、自己責任のもと、議会の役割と責任は益々大きくなっている。市民から選挙で選ばれた議員で構成される議会は、同じく選挙で選ばれた市長と共に、二元代表制のもと、市民の代表機関として、地方自治の本旨に従い、市民本意の市政を実現する責任がある。

その責任を果たすため、議会は、議会と議員の権能と果たすべき役割を明らかにし、市民との情報の共有化を図り、市民意思を市政に反映させる最良の市政運営をしなければならぬ。栃木市議会は、ここに栃木市議会基本条例を制定し、その理念に基づいて規定を遵守することにより、市民に信頼され開かれた議会とすることを決意する。」

## 条例の主な内容

第2条 議員相互の自由な討議

第6条 本会議を始めすべての会議を原則公開

第7条 請願陳情を市民による政策提案として位置づけ提案者の意見を聞く

第8条 年1回以上議会報告会を開催し、市民との意見交換を行う

第9条 議員の質問に対する市長等の反問権の付与

第11条 総合計画の基本計画を議決事件とする

第17条 議員定数の改正は第三者機関による客観的な評価を参考とする

第18条 議員報酬の改正は第三者機関による客観的な評価を参考とする

第19条 議員に関する政治倫理は別に条例で定める

## 議会基本条例検討委員会

委員長 大武真一

副委員長 広瀬義明

委員 渡辺照明 松本喜一

増山敬之 氏家 晃

天谷浩明 長 芳孝

萩原 繁

# 議会の東日本大震災への対応

## 市長に対する要望書の提出

議会に、市民より被災者支援や地域経済の活性化などを望む声が寄せられていることから、市長に対し以下の事項について要望書を提出しました。

- ①受け入れている避難者の相談体制を整備するなど、きめ細かい対応を行うこと
- ②公共施設の被害は迅速な復旧に努め、早急な対応を行うこと
- ③風評被害・出荷制限等により被害を被った農家の実態を把握し、対応すること
- ④事業者等に対する低金利融資制度などの支援策を講じること
- ⑤市民団体などの事業・イベント等を支援し、地域経済の活性化に取り組むこと
- ⑥市民に対する情報提供は、解りやすい内容で迅速かつ適切に実施すること
- ⑦公共施設の耐震化を進め、安全性の確保に努めること

## 東日本大震災に関する決議

議会では、東日本大震災から一日でも早い復興を願い、全力を挙げこの難局を乗り切るため、4月27日の臨時会において、次の項目について決議案を提案し、全会一致で可決いたしました。

- ①被災された方々の苦難に思いを寄せ、支援活動に全力を挙げて取り組む。
- ②市民が一日でも早く安心して生活を取り戻せるよう最大限努力する。
- ③地域経済が低迷しないよう各種支援策について関係機関と協議を進める。
- ④経済の悪化による厳しい財政状況が予測されるため財政健全化に向け努力する。
- ⑤行政、市民、団体等と連携協力し、各種事業やイベント等に対し積極的な支援、協力をを行う。

※決議とは、議会の意思を対外的に表明するために行われる議会の議決のこと。

# 議場コンサート

3月定例会の議場コンサートは、3月1日(火)に、佐藤一美さんのオカリナと澤村恵子さんのピアノによる演奏が行われました。

佐藤一美さんは、栃木市出身のオカリナ、フルート奏者で、日本全国で活躍されているほか、海外公演では、トルコ共和国でのオペラハウスのこけら落としに招かれるなど、国内外を問わず活躍されております。

議場コンサートでは、小さな旅、月の砂漠、チャルダッシュなどの曲が披露されました。



# 本会議の映像を配信しています。

議会の本会議での様子を、インターネットで配信しています。

平成22年12月定例会の映像から見るできるようになりましたので、ぜひご覧ください。

## ※映像の見方

- ①栃木市のホームページを開く。
- ②左側にある栃木市議会の文字をクリック  
(議会のページへと移ります。)
- ③インターネット議会中継の文字をクリック  
(議会放映のページへ移ります。)



# 議会を傍聴してみませんか。

議会は、受付で必要事項を記入するだけで傍聴できますので、お気軽にお越しください。

6月定例会は、6月3日(金)開会予定です。詳しい日程については、議会運営委員会にて決定しだい、新聞折り込みにてお知らせするほか、市議会のホームページにも掲載いたします。

詳しくは議会事務局まで 電話 21-2253  
FAX 25-2231

# 議会のうごき

## 1月

- 7日 100条委員会
- 13日 議員研究会  
議員全員協議会
- 14日 100条委員会
- 17日 議員研修会  
議会広報紙発行特別委員会
- 18日 100条委員会
- 20日 議会基本条例検討委員会
- 25日 議会改革検討委員会
- 31日 議会広報紙発行特別委員会

## 2月

- 3日 100条委員会
- 4日 100条委員会
- 7日～8日 総務常任委員会視察
- 9日 議員研究会  
議員全員協議会
- 16日 議会運営委員会
- 17日 議員全員協議会  
議員研究会  
議会基本条例検討委員会
- 23日 100条委員会
- 25日 本会議(初日)  
議員全員協議会

## 3月

- 1日 本会議(一般質問)
- 2日 本会議(一般質問)
- 3日 本会議(一般質問)  
議会運営委員会
- 4日 本会議(一般質問)  
100条委員会
- 7日 総務常任委員会
- 8日 民生常任委員会
- 9日 産業教育常任委員会
- 11日 建設常任委員会
- 14日 予算審査特別委員会
- 15日 予算審査特別委員会  
議員全員協議会
- 16日 予算審査特別委員会  
議会広報紙発行特別委員会
- 17日 予算審査特別委員会
- 24日 本会議(最終日)  
議会改革検討委員会  
議会運営委員会・議員研究会
- 31日 100条委員会

# 広報紙発行特別委員会

今定例会期間中に発生した東日本大震災では、多くの被害や犠牲者が出てしまいました。亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

- |              |              |   |                   |
|--------------|--------------|---|-------------------|
| 委員長<br>白石 幹男 | 副委員長<br>氏家 昇 | 委員<br>増山 敬之<br>須田 氏家<br>天谷 須田<br>安 安<br>入野登志子<br>芳孝 | 委員<br>永田 浩志<br>武志 |
|--------------|--------------|---|-------------------|